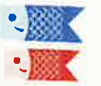




国土交通省では5月1日～5月31日を「水防月間」と定めていますが、大石田出張所は「水防月間」にあわせて、下記の取り組みを実施しました。



4/26内水排除等作業訓練

大石田第五排水樋管において
※内水被害を想定した内水排除等作業訓練を行いました。
訓練では、実際に排水ポンプ車を出動させ、排水の手順を確認しました。

※堤防を挟んで私たちが住んでいる場所を「堤内地」といいますが、堤内地にある水のことを「内水」といいます。



実際に排水ポンプ車を出動させての訓練です。

4/26出水時状況把握訓練

はん濫注意水位を上回る規模の増水時や大きな規模の地震が発生した際には、維持工事業者が管内を巡回し、現地の状況を河川巡視システムで出張所へ報告することとなっています。

訓練では、「河川巡視・点検報告システム」の操作方法の確認や、現地から出張所への報告を行い、災害時における一連の流れを確認しました。



とりまとめの出張所

イメージ図

現地



4/30・5/17堤防モニタリング



本格的な出水期(川が増水しやすい時期)を前に、堤防が安全な機能を有しているかどうかを確認するための調査を行いました。
堤防に損傷があると、大雨による洪水時に大きな被害につながるおそれがあるため、堤防天端舗装にひび割れはないか、法面(堤防の斜面の部分)に亀裂が入っていないかなど、大石田出張所管内の堤防を全て歩いて点検しました。



貫入棒

←貫入棒を使い、堤防の状態を確認していきます。
貫入棒が堤防に刺さる深さを測り、盛土の状態(地盤の緩み)などを調査しました。



護岸にひび割れがないか確認中。→



←舗装の損傷箇所を確認。へこみ部分を測定し、補修が必要か判断します。

5/15洪水対応演習



国土交通省東北地方整備局では毎年、本格的な出水期(川が増水しやすい時期)を前に、大規模な出水・堤防決壊等の重大災害を想定した「洪水対応演習」を実施しています。

当出張所では大石田水位観測所で、はん濫危険水位(16.90m)および計画高水位(17.90m)を超え、堤防決壊するという想定のもと、整備局本局と新庄河川事務所と出張所をTV会議でつないで情報共有をはかり、本番さながらの訓練を行いました。

本訓練を生かし、実際に災害が起きたときにも円滑に対応できるようにします!

もしもの災害を想定し、各種訓練や点検を行い、地域の安全な暮らしを守ります!

水防月間 令和6年5月1日(水)～5月31日(金)

もしもの水害に備えましょう!

～大雨や洪水から身を守るために～



雨の強さと降り方

(出典：気象庁)



国土交通省 川の防災情報

パソコン・スマートフォンから
<https://www.river.go.jp/>

10ミリ～20ミリ	20ミリ～30ミリ	30ミリ～50ミリ	50ミリ～80ミリ	80ミリ以上

やや強い雨
ザーザーと降る

強い雨
どしゃ降り

激しい雨
バケツをひっくり返したように降る

非常に激しい雨
滝のように降る(ゴーパーと降り続ける)

猛烈な雨
息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

▲身近な「雨の状況」「川の水位情報」「行政からの避難情報」などをリアルタイムでお知らせするウェブサイトです。河川沿いに設置しているCCTV画像により、川に近づかなくても状況を知ることができます。



雨の強さと降り方によって水害が発生する危険性が変わります。雨の降り方の違いを知ること、いざという時の判断に役立ちます。

洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)の色に応じた住民等の行動の例

色が持つ意味	状況	住民等の行動の例※1・2	内閣府のガイドラインで完全の目安となる避難情報	相当する警戒レベル
災害切迫 大雨特別警報(浸水害)の指標に用いる基準に到達して到達	重大な洪水災害が切迫。洪水災害がすでに発生している可能性が高い状況。	(立退き避難が加えて危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保!	緊急安全確保 ※5	5相当
<警戒レベル4までに必ず避難!>				
危険 3時間先までに避難準備を大々(超強)した基準に到達する予想	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水災害が発生する可能性が高い状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、安全な場所へ避難する。※3	避難指示	4相当
警戒 3時間先までに警戒基準に到達する予想	洪水災害への警戒が必要な状況。	水位が一定の水位を超えている場合には、高齢者等は安全な場所へ避難する。※4 高齢者等以外の方も、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自ら避難の判断をする。	高齢者等避難	3相当
注意 3時間先までに注意基準に到達する予想	洪水災害への注意が必要な状況。	ハザードマップ等により避難行動を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	2相当
今後の情報等に留意	—	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意する。	—	—

※洪水時に必要な情報は、時々刻々と変化します。「川の防災情報」や気象庁のホームページ、NHK総合テレビのデータ放送(dボタン)で最新の情報を集めましょう。

警戒レベル4
になったら
「全員避難」です!

危険な場所(災害が想定される区域)にいる方は、各自治体から発令されている避難情報に従い、直ちに適切な避難行動をとってください。



※1 洪水キキクルに関わらず、自治体から避難情報が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発令された場合は速やかに避難行動をとる。
 ※2 洪水予報河川の外水氾濫型については、洪水キキクルではなく、河川管理者と気象庁が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえ避難準備が発令されるため、それらに留意し、適切な避難行動を心がけること。
 ※3 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、現地情報を活用した上で、洪水キキクル(紫)を参考に安全な場所へ避難する。
 ※4 洪水予報河川・水位周知河川以外で水位を観測していない河川においては、洪水キキクル(赤)を参考に高齢者等は安全な場所へ避難する。
 ※5 災害が発生・切迫している状況を市町村が必ず把握することができるとは限らないこと等から、緊急安全確保は必ず発令される情報ではない。また、警戒レベル5相当情報が出たからといって、必ず緊急安全確保が発令されるわけではない。

～5/12 クリーンアップおおいしだ大作戦～

5月12日に大石田町と大石田町地区衛生組織連合会が共催する清掃活動が行われました。大石田出張所からは今回、出張所がある今宿地区に参加しました。河川清掃いただき、ありがとうございます!
うつくしい自然を守り最上川の清流をとりもどすため



ゴミのポイ捨てを無くしましょう!

【発行】

国土交通省 東北地方整備局 新庄河川事務所 大石田出張所
(担当:佐藤・大山)

〒999-4113 大石田町大字今宿字鷺の原466-2
(TEL)0237-35-2024 (FAX)0237-35-2354

※「川通信 おおいしだ」をご覧になってのご感想やご意見をお寄せ下さい。

※工事現場や河川管理施設をご覧になりたい方は、大石田出張所までご連絡ください。



ホームページもご覧下さい!
<http://www.thr.milt.go.jp/shinjyou>

新庄河川

検索

